



地域の関係団体の活動内容や、ボランティア活動、サロンの実施状況などの情報共有を行った。

地域の良いところ、住民の困りごとなどについて意見を出し合うことで、「一人暮らし等により、屋外の掃除やゴミ出し、買い物などに困っている人がいるのではないか」など、課題の整理を行った。



～地域資源・地域課題の把握～

別添一覧表

明保地区のサロン・クラブ・サークルなど紹介

*主に高齢者向けを紹介

NO	名称	所属	開催日時など
1	囲碁(愛好会)	明保地域コミュニティセンター利用サークル	毎週火曜・午前・午後
2	茶道(一期会)	々	第2・4木曜-午後
3	雨情合唱団	々	第3土曜-午後
4	絵手紙(みどり会)	々	第2・4金曜-午前
5	日舞(千保クラブ)	々	毎週水曜-午後
6	俳句(明保句会)	々	第2木曜-午後
7	雨情籠栗クラブ	々	第3土曜-午前
8	迷劇料理クラブ	々	第4木曜-午前
9	ハーモニカクラブG♭	々	第1・4木曜-午後
10	明保ハイキングクラブ	体育協会	第2土曜日を中心に計画
11	太極拳クラブ	健康づくり推進協議会	第2・3・4火曜-午前
12	卓球クラブ	体育協会	第1・3火曜19時-明保小体育館
13	ゴルフ(明友会)	々	3・6・9・12月にコンペ
14	グラウンドゴルフ	々	毎週火・水・金曜-午前
15	男の料理研究会	雨情寿会	第3火曜15時～
16	カラオケサークル	雨情女性クラブ	第3月曜-午後バンバン
17	フラダンスサークル	々	第1・2・4木曜-午後
18	手工芸サークル	々	第2・4木曜-午後
19	茶道サークル	々	第2・4火曜-午後
20	梵天サロン	羽黒台自治会居場所有志	第3月曜-午前 羽黒神社裏庭
21	いきいきサロン	三の尻北自治会居場所有志	第1・3月曜-午前 北集会所
22	どんぐりサロン	三の尻西自治会居場所有志	第2土曜-第4金曜-午前
23	はつらつ教室	地域包括支援センター一區上	第1・3水曜-午前
24	ストレッチ教室	健康づくり推進協議会	第3土曜-午後
25	脳トレ教室	々	第2水曜-午後
26	ウォーキング	々	毎週 曜-三の尻西自治会集会所
27	健康麻雀クラブ	有志	第4木曜-午銀コースは予め計画
28	老人クラブ	雨情寿会 尚楽昇 もろこし倶楽部	—
29	ボランティアクラブ	明保ボランティアクラブ 三の尻北ボランティア	—

*記載場所以外は明保地域コミュニティセンター

アンケート調査の実施あわせて、地区のサロンやクラブ活動の一覧表を作成、配布した。
地域のサロン・サークル活動の周知につながり、新たな入会につながるなど、活動の活性化にもつながった。

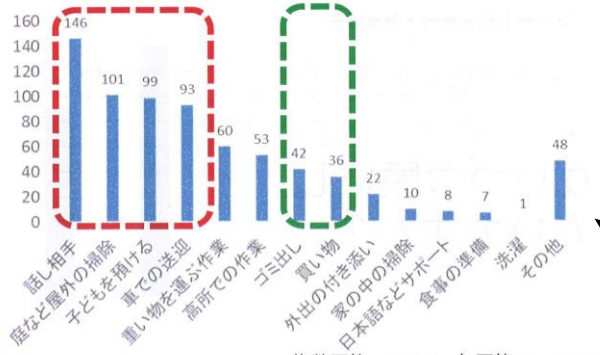
地域の自治会長、民生委員、福祉協力員などが、サロンや商店などについて住宅地図を活用して情報を整理し、「見える化」を図ることで、地域の良いところや課題を再認識



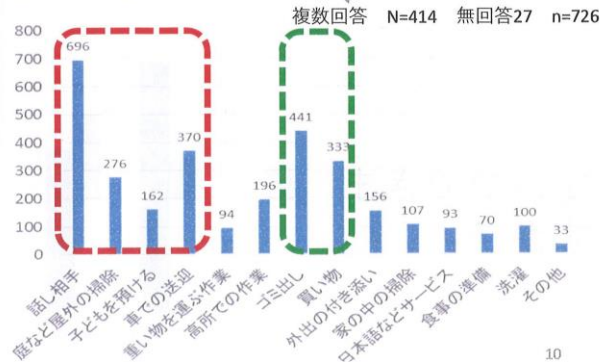
～地域におけるニーズの把握～

2. アンケート結果報告・質疑応答

Q 何をお願いしてみたいですか？



Q 実際にできそうな内容は何か？



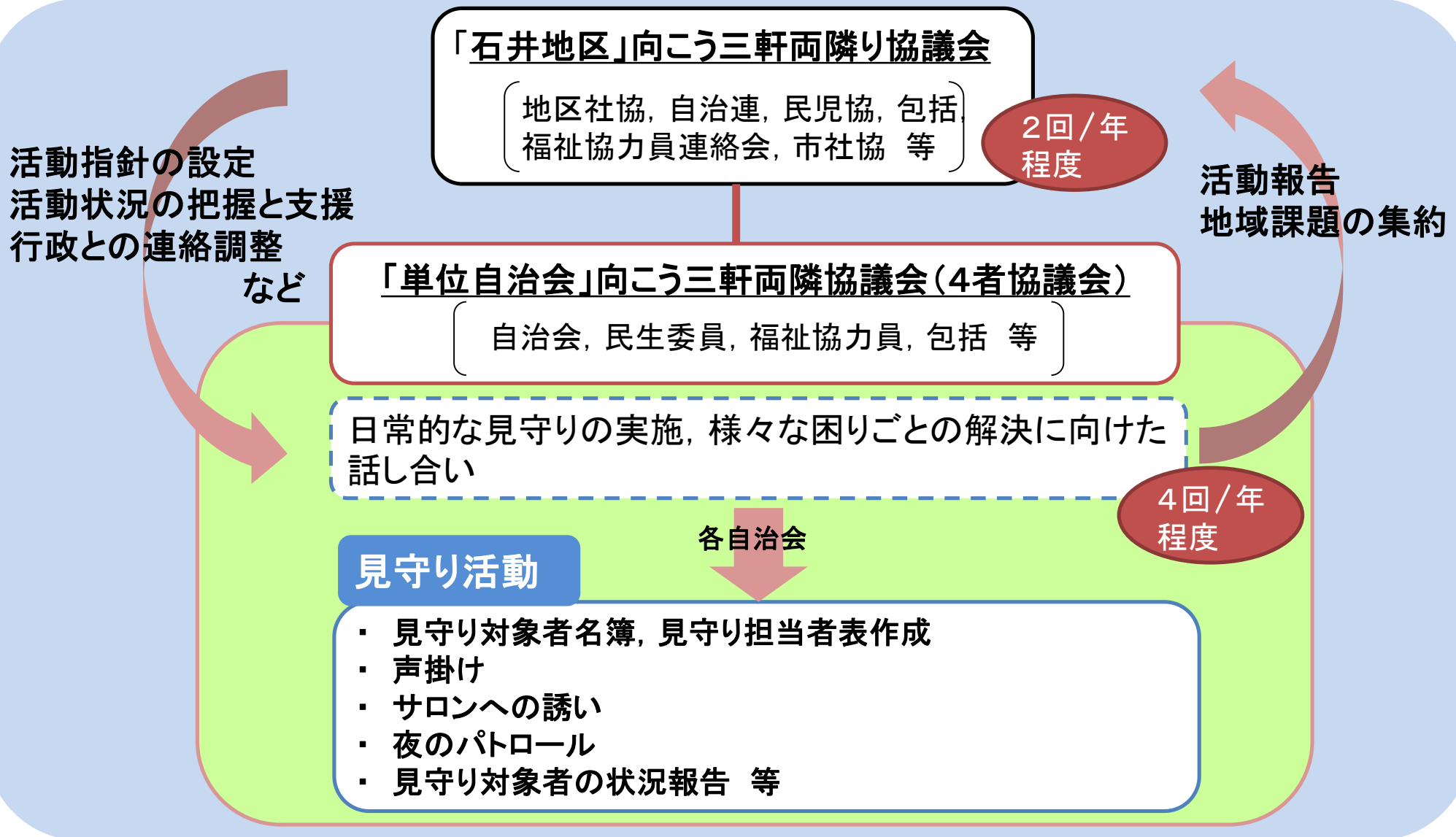
高齢者の困りごとや、支援の担い手を把握するため、アンケート調査を行った。高齢者が支援を希望する項目、担い手が支援可能な項目を具体的に把握することができた。
また、多くの方から「今後支え合い活動に関わりたい」との回答があった。

アンケート結果については、地域の関係団体とともに報告会を行い、地域の関係者との問題意識の共有を行った。アンケート結果については、具体的な支え合い活動の検討に活用



見守り活動（石井地区）

第2層協議体



見守り活動（平石地区）

<取組の経緯>

平成28年12月～

福祉のまちづくり計画策定にあたり、地域の課題や取組について検討
→ 生活支援、居場所、見守り等についてグループごとに検討開始

令和元年11月

福祉のまちづくり委員会を協議体と位置付け

令和2年1月～

各世帯を訪問し、安心・安全情報キットの確認などを行う「安心・安全訪問キャンペーン」の実施内容について検討

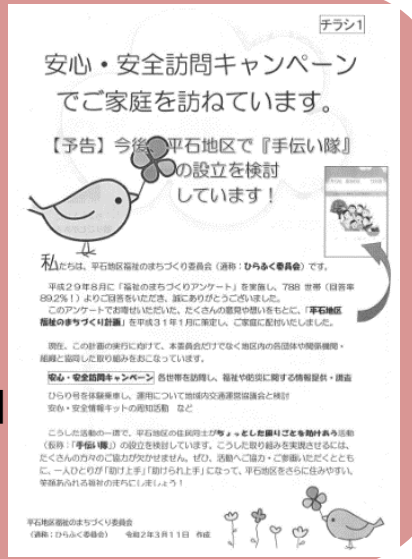
今後の取組

訪問時に配付する資料や実施方法、実施時期について検討

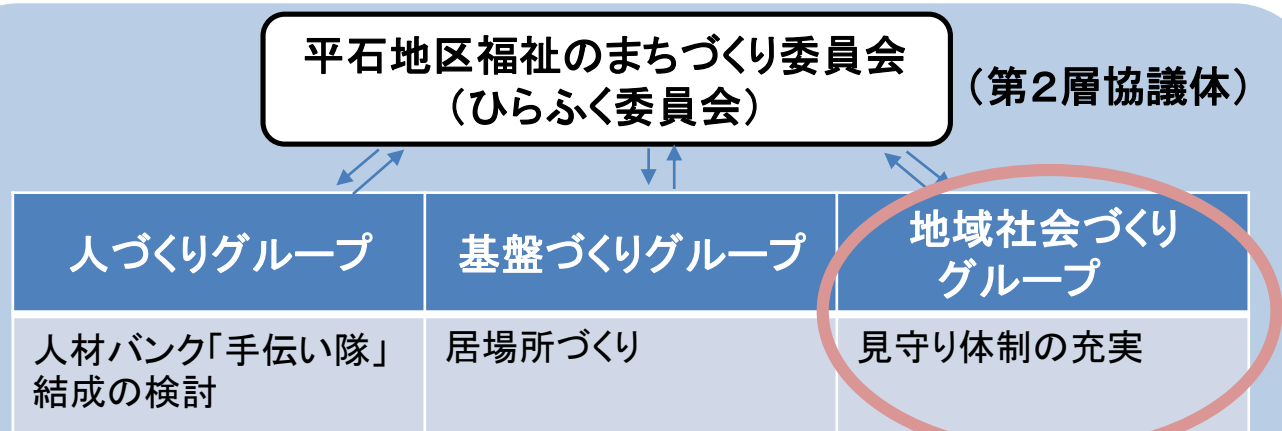
<主な取組内容(予定)>

◆ 「安心・安全訪問キャンペーン」

- 対象 ▶ 自治会加入世帯(約850世帯)
方法 ▶ 福祉協力員や民生委員等が各家庭を訪問、火災警報器の設置状況や安心・安全情報キットの有無など聞き取り調査を行う。
併せて、「困ったときの相談窓口」ファイルを作成、配付し、活動のPRも行う。



<推進体制>



※ 委員会と連携・協同しながら取組を推進する。

困ったときの相談窓口ファイル（平石地区）

表面

裏面

平石地区 困ったときの相談窓口

「困りごとをどこに相談すればいいかわからない…」
そんなときは、こちらをご覧ください！


永久保存版

高齢者の 介護・福祉・健康について

鬼怒地域包括支援センター ☎683-2230 御幸町77番地 森崎ビル1階
高齢の方の無料の相談窓口です。介護・福祉・健康でお困りの時にはご連絡ください。

例えば、こんな相談に応じています

- 「家族の介護で悩んでいる」
- 「近所でひとり暮らしをしているお年寄りの生活が心配」
- 「要介護状態にならないうちに、完備に備えたい」
- 「介護を受けている高齢者がいる」



※窓口開設日時：月曜日から金曜日（祝祭日および年末年始を除く）
8：30～17：15 開設時間以外は電話での相談になります

平石地区の福祉施設紹介

・ケアハウス白寿の里	☎663-8910	下平出911-1
・デイサービスセンターむつみ	☎663-8388	下平出906-1
・グループホーム菜の花園/多機能ホーム菜の花	☎660-7564	平出町1666-1
・特別養護老人ホーム高砂荘 /高砂荘デイサービスセンター	☎663-4330 ☎663-4330	平出町1510-1 平出町1510-1
・介護老人保健施設宇都宮シルバーホーム	☎680-6664	平出町413
・グループホーム宇都宮	☎689-6600	平出町377-1
・ハートフルサポートとちぎデイサービス	☎683-6010	槻田町1771-1

こんな地域住民もあります！

- ◆地域の身近な相談窓口 **民生委員・児童委員**
地域の身近な相談相手となり、住民と専門機関とをつなぐパイプ役を担っています。
- ◆地域福祉のボランティア **福祉協力員**
地域の福祉に関するボランティアとして活動しています。

子ども・障がい者・高齢者などの 保健・福祉・健康について

平石地区市民センター ☎661-2369 下平出町158-1
センターでは、保健や福祉のことで「相談に行こうかどうか迷っている」「どこの課に相談すればいいかわからない」などお困りの際に、気軽に相談できる窓口を開設しています。電話での相談にも応じておりますので、ぜひご利用ください。

例えば、こんな相談に応じています

- 「保健や福祉に関するサービス利用の相談、または手続きがしたい」
- 「高齢者や障がいのある人などの日常生活や健康管理について悩んでいる」
- 「妊娠・出産に関すること、子どもの成長・発達や育児、離乳食に関することなどの相談がしたい」

※窓口開設日時：月曜日から金曜日（祝祭日および年末年始を除く）
8：30～17：15 健康相談は9：00～12：00 / 13：00～16：00

悪徳商法・契約トラブルの相談

※電話相談 平日 9：00～17：30
土日祝休日 9：00～16：30（年末年始を除く）

宇都宮市消費生活センター ☎616-1547

地域内交通「ひらり号」について

地域内交通 ひらり号（利用者の予約に応じて、自宅と事前に設定した目的地及び目的地をドアとドアで結ぶ運行形態）は、平石地区にお住まいの方で、会員登録をした方が利用できます。

予約フリーダイヤル 0120-111-246（東タクシー株式会社）

※運行は、午前6時から！出発おきに午後6時までです。
希望する便の30分前までに予約してください。
拒乗りのため、予約時間と到着時間が前後する場合があります。
※会員登録については、地域内交通運営協議会（市民センター内）☎660-1964)にお問い合わせください。

緊急時の連絡先

警 察 110番

火事・救急 119番

宇都宮東警察署 ☎662-0110






あわてずに、おちついて…

平石地区福祉のまちづくり（ひらふく）委員会 令和2年4月1日 作成
平石地区をさらに住みよいまちにするために、「平石地区福祉のまちづくり計画」を策定し、その実行をもって福祉のまちづくりを推進しています。

誰もが自由に参加できる居場所の開設（清原地区）

<取組の経緯>

平成29年8月

第2層協議体設置

平成30年8月

居場所・助け合いについて
アンケート実施

令和元年6月

アンケート後、グループワークを
行い、協議体に3部会を設置
(居場所部会、生活支援部会、
運営部会)

令和元年7月

居場所候補地の検討、見学

令和元年10月

居場所「**きずなカフェ**
ふれあいの杜」開設(第1号)

<取組内容>

◆「きずなカフェ ふれあいの杜」

対象・・・地区内の住民(閉じこもりがちな高齢者を想定)

※ 来場が困難な方には声掛けし、地域の支援者が送迎
を行っている

開催場所・・・個人宅(元料亭)

参加料・・・100円

開催状況・・・月1回程度

利用状況・・・毎回15人程度

**内容等は定めず、
自由に茶話会などを行う**



<推進体制>

居場所部会	生活支援部会	運営部会
「きずなカフェ」を 運営、地域住民の 交流活性化に取り組む	有償ボランティア事業 を試行	広報紙「きずな通信」 の発行等、広報活動
構成員・・・有志住民、福祉協力員、介護事業所、包括、市社協、 社会福祉法人YMCA福祉会 等		
※ 全ての部会が月1回参集し、情報共有、検討を行う(第2層協議体)		

有償ボランティア（東地区）

<取組の経緯>

平成30年9月～

地域の課題，困りごとについて
情報交換
→生活支援の取組を充実する

令和元年11月

第2層協議体メンバーによる
「生活支援ボランティア隊
結成準備チーム」設置

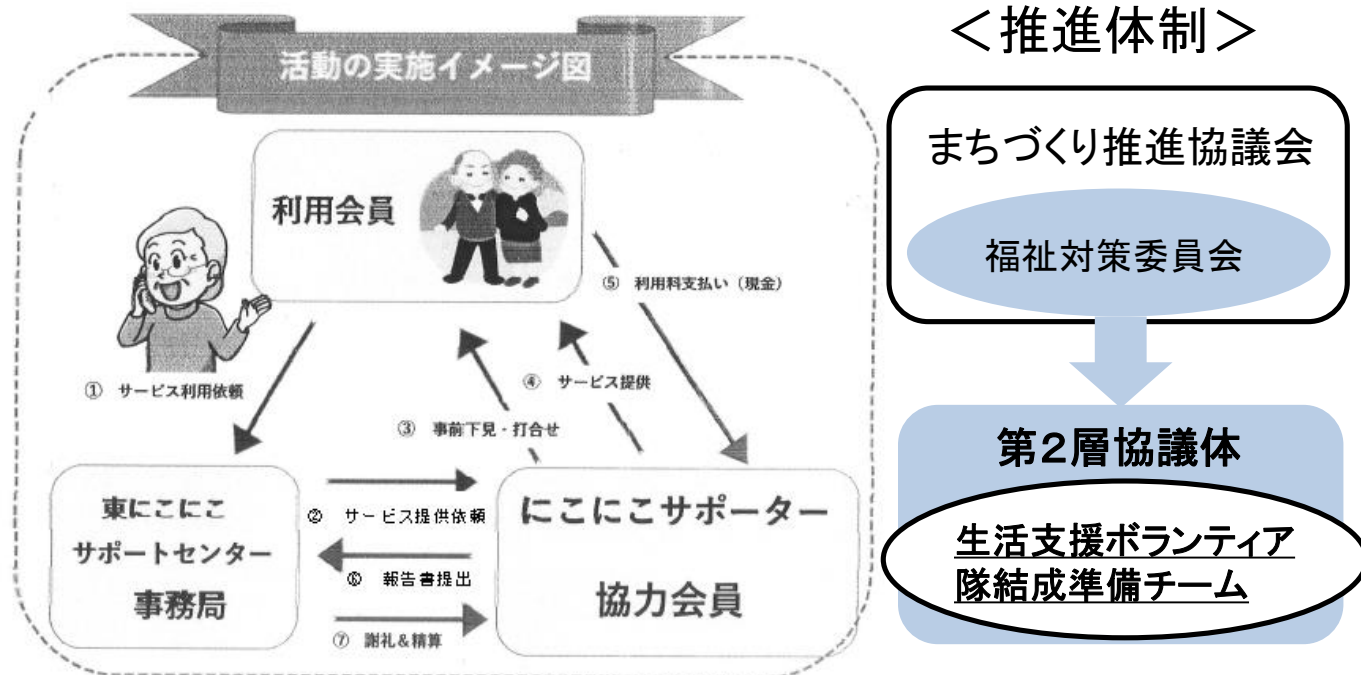
令和元年12月～

準備チーム会議の開催
※人材の募集方法，サービス
内容，保険，基本計画の策定等
について検討

今後，サービスの提供開始に
向けて，担い手の募集，周知
方法等について検討を進める

<取組内容(予定)>

- ◆ 「生活支援ボランティア隊 東にここにサポーター」(仮称)
対象…自治会に加入している一人暮らし高齢者及び
高齢者世帯(※登録制)
内容…電球の交換，庭の手入れ，窓ふきなどの生活上の
困りごとや，話し相手
利用料…1時間500円(話し相手は無償)



有償ボランティア（石井地区）

<取組の経緯>

平成29年6月～

地域の課題や取組について「石井地区向こう三軒両隣り協議会」の中で、検討

平成30年7月

第2層協議体として位置付け

令和元年12月

生活支援サービス「石井地区向こう三軒両隣り協力隊（あったか）」設置運営要領（案）作成

令和2年3月

担い手（サポーター）の募集

福祉協力員を中心とした地域住民40名超の応募

→ 今後、傾聴などについて外部から講師を依頼し、研修を実施予定

<取組内容（予定）>

◆ 「石井地区向こう三軒両隣り協力隊（あったか）」

対象・・・65歳以上の一人暮らし高齢者，
75歳以上の二人暮らし高齢高齢者，
80・50歳親子二人暮らし家庭 等（※登録制）

石井地区向こう三軒両隣り協力隊（案）

“通称：あったか”

サポーター大募集！！

支援を必要とする高齢者のちょっとした困りごとのお手伝いをします。少しの時間を、地域の支え合いに役立ててみませんか！

※高齢者の対象は日中一人暮らし、二人暮らしの高齢者で活動に支障が必要な方のみ

サポート内容

(1)話し相手 (2)簡単な食料の買い出し (3)電球の玉取り換え
(4)庭の簡単な草むしり、植木はざり (5)散歩

サポート登録出来る方

○成人された人（サポートできる元気な高齢者の方も、大歓迎！！）
○平日の午前9時から午後5時（原則）のうち2時間活動できる人

活動について

○ご自分の都合の良い日に、やれることを選んで活動します。
○福祉サービス総合補償に加入していますので安心して活動できます。
○謝礼として2時間250円を受け取れます。

（サポート(2)(3)(4)に関しては 石井地区向こう三軒両隣り協議会
利用者からも250円受け取れます。） あったか事務局

★3月末日までに事務局までにお申し込みください。

内容・・・話し相手，散歩→無料
買い物，
電球の取り換え，
草むしり 等
作業が伴うもの→250円

※ 利用対象者へのちらしを別途作成し、個別に案内するほか、各自治会の回覧で利用希望者を募集する。

※ 利用会員登録受付窓口・・・地域包括支援センター石井・陽東

無償ボランティア（西原地区）

<取組の経緯>

平成30年2月

第2層協議体設置

令和元年9月

日常生活の困りごと、手伝える内容などについてアンケート実施

令和元年11月～

アンケートの結果、ニーズが高く、協議体で取り組めそうなことを検討→草むしり活動に決定

令和2年6月

担い手と利用者の募集

令和2年8月

草むしり活動実施（試行）

※試行の結果を踏まえて、対象者やサービス内容の検討を行っていく予定

<取組内容>

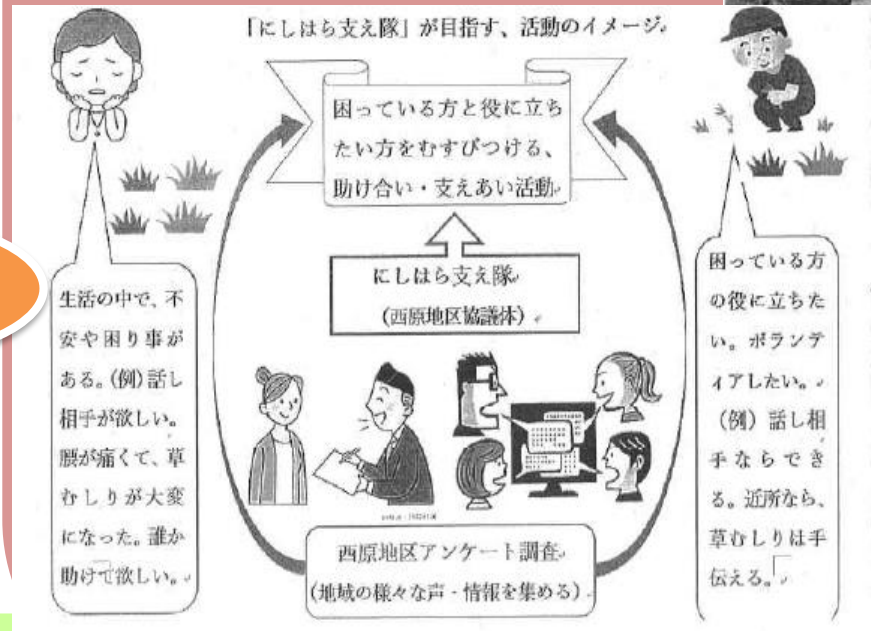
◆ 草むしりボランティア

対象・・・困りごとを持つ地区内の高齢者

利用料・・・無料

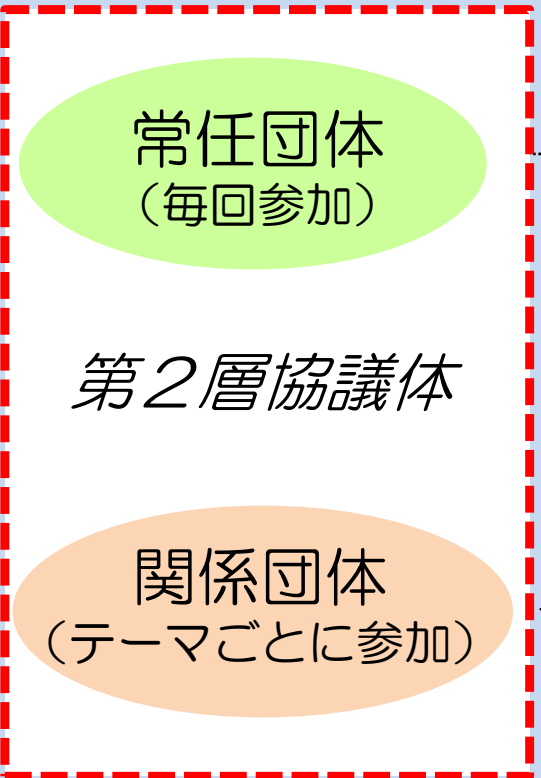
※ 回覧で担い手と利用者を随時募集し、協議体で結びつける。

草むしり活動の様子



構成団体間の情報共有・連携（陽南地区）

- ◆ 協議体の構成団体を常任団体と関係団体に分け、テーマごと参加団体を加えながら、地域ぐるみで情報共有、課題の検討を行う組織体制とした。
- ◆ 情報共有にあたっては、「地域福祉事業調査票」を活用し、テーマの優先順位や情報の整理を行う。



テーマの優先順位 協議テーマ	災害時 要援護者 支援制度	ふれあい・ いきいき サロン事業	ひとり暮らし高 齢者ふれあい 会食事業	安心・安全 情報キット 配付事業	あったか集 い・ふれあ い訪問事業	高齢者 愛の訪問 事業
構成団体名						
まちづくり協議会	○	○	○	○	○	○
連合自治会	○	○	○	○	○	○
社会福祉協議会	○	◎	○	○	○	○
民生委員児童委員協議会	○	○	◎	○	◎	○
福祉協力員連絡会	○	○	◎	○	○	◎
老人クラブ連合会	△			△		
健康づくり推進委員会		△				
自主防災会	◎			△		
婦人防火クラブ	△					
その他①()						
その他②()						
その他③()						
地域包括支援センター	○	○	○	○	○	○

※ ◎印は事業の実施又は代表団体。○印は協力団体。△印は関係団体。

構成団体間の情報共有・連携（陽南地区）

地域福祉事業調査表

事業名 (所管部局)	()
地域の担当	<input type="checkbox"/> 社会福祉協議会 <input type="checkbox"/> 民児協 <input type="checkbox"/> 福祉協力員 <input type="checkbox"/> その他 ()
事業の概要	
・内容	
.....	
.....	
・経費 【収入】	円 (主なもの)
【支出】	円 (主なもの)
・実施時期/回数/頻度など	
・対象者/参加人数など	
・その他	
課題や問題点など	
.	
【今回はここまで記入して下さい】	
改善点や解決方策など	

◆ 「地域福祉事業調査票」

各地域団体の活動内容や課題について、「見える化」を行い、情報共有



団体の垣根を超えて、地域ぐるみで、各団体が行う事業の課題解決に向けた検討を行う。



◆ 検討内容（想定）

- ・ コロナ禍におけるサロン活動
- ・ 見守り活動における民生委員と自治会の連携方法 など